2012年9月19日

会員（含法人会員登録者）各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本広報学会

理事長　濱田　逸郎

**日本広報学会　第15回公開シンポジウム**

**緊急時における広報の役割**

**～広報プロフェッショナリズムの確立に向けて～**

**開催のご案内**

ソーシャルメディアの普及により、人々はネット上のつながりの中でより確かな情報を自主的に求めていくようになりました。企業やマスメディアによる公式情報であっても、間違いはすぐに指摘され、不足する情報は瞬く間に補足され、内容はリアルタイムで評価され、時には炎上、時には感動や善意の和を広げていきます。このように、一瞬にして情報が駆け巡る時代において、広報はどのような役割を果たすことが求められているのでしょうか。

広報の役割やメッセージ発信のあり方は、深刻な事故や事件であればあるほど果たすべき社会的責任が重くなります。そこで、本年度の日本広報学会公開シンポジウムは、ソーシャルメディアの爆発的普及のきっかけとなった福島原発事故に焦点を当て、緊急時における広報の役割について討議したいと思います。

事故の調査については、国会、政府、民間、事業者が取り組み、今年の7月に全てが出揃いました。報告書の中には、広報専門家の配置が不可欠であると提言していたものもありました。官邸、保安院、東京電力、それぞれの組織体が社会から期待された情報は何だったのか、それに対して各組織はどのような情報発信を行ったのか、どこにギャップが生じたのか、一般企業や団体において教訓とすべき点は何か、守秘義務と公益性をどう考えるべきか、自分ならばどうしていたのか。ぜひ皆さんと共に考えを深めたいと思います。

－記－

【テーマ】**緊急時における広報の役割～広報プロフェッショナリズムの確立に向けて～**

【開催日時】2012年11月12日（月）18：30～21：00（受付開始 18:00）

【会場】（社）日本記者クラブホールＡ　（日本プレスセンタービル10階）

東京都千代田区内幸町2-2-1 TEL: 03-3503-2721

【プログラム】

■開会挨拶（18：30～18：35）

■基調講演（18：35～19：25）

**下村　健一氏**（内閣広報室審議官/元テレビキャスター）

　　 ＜プロフィール＞

　　1985年、ＴＢＳ入社。報道アナウンサー、ディレクター、ニューヨーク特派員等を経て、

1999年退社。フリー契約で「筑紫哲也ＮＥＷＳ23」「みのもんたのサタデーずばッと」等の

コーナー担当キャスター。2001年、東京大学(社会情報研究所／当時)客員助教授。

2010年～今秋、内閣広報室審議官として震災・原発関連広報に関わる。

■休憩（19：25～19：35）

■パネル・ディスカッション（19：35～20：50）

パネリスト: **江良　俊郎氏**（株式会社エイレックス　代表取締役）

**木村　浩氏**（東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻　准教授）

**下村　健一氏**（内閣広報室審議官/元テレビキャスター）

**村上　信夫氏**（放送作家/茨城大学　教授）

モデレーター：**石川慶子氏**（広報コンサルタント/日本広報学会　事業委員長）

■閉会挨拶（20：50）

【参加費・申し込みについて】

参加費および資料代として：会員3,000円　　非会員4,000円　　学生1,000円

※当日受付にてお支払いください。

申し込み方法：

参加希望の方は、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、日本広報学会事務局までeメールまたはファクシミリ、郵送にてお申込みください。

ＷＥＢからのお申込みも当学会ホームページから可能です。

申し込み締切：11月7日（水）

※先着100名。

なお、申込後キャンセルされる場合は、必ず前日までに事務局へご連絡願います。無断でご欠席の場合は、後日会費を請求させていただきます。

＜本件に関する問合せ・ご連絡先＞

日本広報学会　事務局（事務局長　矢野充彦）

〒101-0064　東京都千代田区猿楽町2-2-7第二浦野ビル402

　　　　TEL.03-5283-1104 FAX.03-5283-1123　e-mail:[jsccsty@gamma.ocn.ne.jp](mailto:jsccsty@gamma.ocn.ne.jp)

　　　　ホームページ <http://www.jsccs.jp/>